

日本宗教学会
第45回学術大会

期 日 昭和61年9月13日(土)~15日(月)
場 所 京 都 大 学 教 養 部
(開催当番校 京 都 大 学)

— お知らせ・お願い —

1. 受付にて名札をお受けとり下さい。諸費用未納の方はお納め下さい。
2. 受付に学会本部が出張しておりますので、学会費未納の方はお納め下さい。
3. 研究発表者は発表の1, 2番前にはその部会会場へおいで下さい。
4. 研究発表は1人15分、質問時間は5分となっております。発表時間の厳守をお願い致します。
5. 研究発表のレジュメ(1,600字程度)を部会責任者にお渡し下さい。
(9月15日午後5時締切。以後は一切受けませんので御注意下さい。)
なお、英文タイトルは編集部にて修正させていただく場合があります。
あらかじめ御了承下さい。
6. 荷物は所定のクロークを御利用下さい。
7. 9月14日、15日11時から14時迄教養部生協食堂で弁当を販売しています。
8. 9月14日、15日の大会本部への電話連絡は次の番号を御使用下さい。

TEL (075) 751-6010

(当日は休日のため他の番号では通じません。)

日 程

9月13日 (土)

学会賞選考委員会 (文学部長室)		12:00~14:00
編集委員会 (文学部長室)		14:30~15:30
公開講演会 (イタリア会館ホール)		15:00~17:30
「出雲国造の火継ぎ神事——その展開と変容」	平井直房 先生	
「究極的関心について」	武内義範 先生	
理事会 (京大会館)		18:00~20:00

9月14日 (日)

開 会 式 (教養部A号館. 222教室)		9:00~9:20
研究発表 (教養部A号館. 各教室)		9:20~12:00
評議員会 (教養部A号館. 222教室)		12:00~13:00
研究発表 (教養部A号館. 各教室)		13:00~15:20
記念写真撮影 (教養部E号館前)		15:30~16:00
総 会 (教養部E号館. 11教室)		16:20~17:00
懇 親 会 (京大会館)		18:00~20:00

9月15日 (月)

研究発表 (教養部A号館. 各教室)		9:00~12:00
編集委員会 (文学部長室)		12:00~13:00
研究発表 (教養部A号館. 各教室)		13:00~17:20

第 1 部会 (A225教室)

9月14日(日) 午前(9:20~12:00)

1. 「ミッション・スクール」の教職員の意識調査から
2. 信仰の深みと意識
3. 宗教の独自性と非還元性について一方法論的考察一
4. 東西霊性の接点一アンセルムスと本居宣長一
5. 宗教的情操と社会科
6. 己事と他者
7. もののあわれ宗教論
8. 宗教の個人化・内在化

北川直利(聖霊女短大付属高)
 澤井義次(天理大)
 木村武史(筑波大)
 坂本進(輔仁大)
 永井隆正(知恩院浄土宗学研)
 土井道子
 高木きよ子(東洋大)
 井門富二夫(筑波大)

9月14日(日) 午後(13:00~15:20)

9. 仏基の対論一J・エドキンスの排仏論一
10. 「仏」と「法」の問題提起
11. 宗教の伝統一表現行為と表現形態の関係一
12. 岸本英夫「宗教学」における外道・異端の問題
13. 夢と宗教
14. 能楽のワキ僧の宗教的役割
15. 宗門大学における仏教教育の理念

芹川博通(淑徳短大)
 千明束道(妙観文庫研)
 小田淑子(東大)
 中本光省
 谷口茂(明治学院大)
 長井英子(関東学院大)
 早島鏡正(武蔵野女大)

9月15日(月) 午前(9:00~12:00)

16. 私の仏教経済学
17. 自然(じねん)の因果性について
18. デモニッシュなものについて
19. 宗教的思惟における獣の位置
20. 神話の構造分析の方法
21. 宗教心理学における自我の問題
22. 精神分析の宗教的文脈
23. 臨死体験にみられる宗教的要素
24. 人類平和の根拠

春日禮智
 遠山諦虔(日大)
 山本邦子(大谷女大)
 松村一男(東京女大)
 小林恵一(関西外大)
 磯田富夫(大正大)
 安藤泰至(京大)
 西田隆男(自由の森学園)
 山下秀智(静岡大)

9月15日(月) 午後(13:00~17:00)

25. ユング的立場より見た禅の悟り
26. ユングにおける「転移」の問題(2)
27. 意識と場所
28. 現代社会における死についての一考察
29. 文化における〈狂気〉の占める位置について
30. 宗教調査の方法論
31. 女性教祖の分析的考察
32. 宗教的指導者信仰と現代社会
33. 世俗社会の宗教について
34. R. N. ベラーと個人主義
35. 宗教的多元主義の哲学に向けて
36. エリアーデの全体的解釈学と宗教学の課題

河東仁(東京女大)
 垂谷茂弘(京大)
 鎌田東二(国学院大)
 木村登次(愛知学院大)
 和田俊昭(大阪外大)
 島田裕巳(放送教育開発センター)
 薄井篤子(九大)
 島藺進(京外大)
 管井大果(八代学院大)
 中村圭志(東大)
 間瀬啓允(慶大)
 荒木美智雄(筑波大)

第 2 部 会 (A223教室)

9月14日(日) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 1. アリストテレスの実体論における神 | 角 田 幸 彦 (明 大) |
| 2. 後期シェリングとペーメ | 岡 村 康 夫 (舞 鶴 高 専) |
| 3. 新プラトン主義と中世ドイツ神秘思想における「一」 | 吉 田 喜 久 子 (京 大) |
| 4. エックハルトにおけるロゴスをめぐる思惟 | 田 島 照 久 (早 大) |
| 5. レッシングの『ヴォルフエンビュッテル断篇』をめぐって | 玉 井 実 (東 京 工 芸 大) |
| 6. 仏教思想によるホワイトヘッド理解の問題点について | 菱 木 政 晴 (西 山 短 大) |
| 7. I. カントにおける無の問題 | 木 村 勝 彦 (筑 波 大) |
| 8. カントの道徳論の宗教性 | 村 野 宣 男 (文 教 女 短 大) |

9月14日(日) 午後(13:00~15:20)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 9. カントにおける「行為」という概念について | 石 島 孝 文 (近 大) |
| 10. ヘーゲルと『ハムレット』 | 門 脇 健 (京 大) |
| 11. ヘーゲル『精神現象学』——「不幸な意識」—— | 八 田 隆 司 (明 大) |
| 12. ヘーゲル左派によるキリスト教批判の諸相(4) | 寺 田 ひろ子 |
| 13. ニーチェの「永遠回帰」をめぐる一考察 | 中 路 正 恒 (郡 山 女 大) |
| 14. ニーチェと宗教——罪の意識からの解放 | 湯 田 豊 (神 奈 川 大) |
| 15. 宗教的死の問題 | 石 井 誠 士 (京 大) |

9月15日(月) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| 16. プラトンの『パイドン』におけるアイデア認識 | 浜 崎 盛 康 (琉 球 大) |
| 17. ソクラテスの宗教裁判 | 保 坂 幸 博 (東 海 大) |
| 18. キティオンのゼノンにおけるロゴスと神 | 兼 利 琢 也 (早 大) |
| 19. クザヌスにおける「coniectura」の概念について | 山 下 一 道 (龍 大) |
| 20. スピノザにおける認識と啓示 | 安 中 隆 徳 (産 業 能 率 大) |
| 21. ライプニッツにおける連続的創造について | 岡 部 英 男 (早 大) |
| 22. 知覚する神と創造神——バークリの神(3) | 酒 井 サヤカ (日 本 歯 大) |
| 23. 宗教の「地(じ)」について——シェリングの「無底」に関連して—— | 森 哲 郎 (関 西 学 院 大) |
| 24. 意志と表象としての世界と四智 | 鑑 本 光 信 |

9月15日(月) 午後(13:00~17:00)

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 25. レッシングとキルケゴール | 谷 口 郁 夫 (筑 波 大) |
| 26. キルケゴールにおける神の存在証明 | 谷 口 龍 男 (早 大) |
| 27. 本来性・非本来性に関するハイデガーの解釈の問題 | 仲 原 孝 (京 大) |
| 28. ハイデガーにおける「言葉」の問題 | 神 尾 和 寿 (京 大) |
| 29. ハイデガー哲学における言語と存在の開け | 竹 原 弘 (徳 山 大) |
| 30. ベルジャーエフの宗教観 | 田 口 貞 夫 (上 智 大) |
| 31. デュルケムとベルグソンの宗教 | 寺 林 脩 (夙 川 学 院 短 大) |
| 32. デュルケムにおける道徳と宗教について(2) | 山 崎 亮 (東 北 大) |
| 33. 日常性と宗教 | 米 沢 穂 積 (嵯 峨 美 短 大) |
| 34. R.オットーの神秘主義論における禪 | 木 村 俊 彦 (東 海 女 大) |
| 35. シェラーの神概念について | 宮 野 升 宏 (大 正 大) |
| 36. Panentheismについて | 山 本 誠 作 (京 大) |

第 3 部 会 (A221教室)

9月14日(日) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|---|--------------|
| 1. ホノーリウス・アウグストドゥネーンシスの自由意志論 | 山崎裕子(聖心女大) |
| 2. 口伝律法と宗教的真理 | 市川裕(筑波大) |
| 3. レフ・トルストイのキリスト教理解の意味するもの | 久我光雲(法大) |
| 4. 第三イザヤにおける「沈黙」 | 関根清三(北大) |
| 5. トマス・モアにおける《superbia》と《humanitas》について | 酒井紀幸(早大) |
| 6. ルターの労働観に関する一考察 | 早乙女禮子(大阪体育大) |
| 7. M.ルター『奴隷意志論』における神概念 | 須藤茂明(筑波大) |
| 8. マルティン・ルターの義認論の核心 | 楠本真三(甲南女大) |

9月14日(日) 午後(13:00~15:20)

- | | |
|--------------------------|------------|
| 9. バルトの神の空間性について | 大島末男(広島工大) |
| 10. バルト・キリスト論の含意と21世紀の神学 | 山本和(日本神学研) |
| 11. 福音書のナラトロジー | 挽地茂男(東大) |
| 12. プルトマンの根本思想と聖書学の方法 | 土屋博(北大) |
| 13. アンセルムスにおける「神の像」 | 笠井貞(群馬大) |
| 14. リバイバルにおけるJ.エドワーズ | 茂義樹(梅花短大) |
| 15. カイロス (kairos) について | 城戸裕子(大正大) |

9月15日(月) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| 16. キルケゴールのキリスト者像 | 西倉直樹(東北大) |
| 17. キェルケゴールにおける罪と罪の赦し | 荒井優(愛知大) |
| 18. 実存者のノモス | 結城敏也(ICU) |
| 19. 「唯信」と“sola fide”について | 加藤智見(東京工芸大) |
| 20. ヨハネ福音書記者の叙述方法の特徴 | 土戸清(東北学院大) |
| 21. ヨハネ福音書における非概念的なものの重要性について | 佐々木啓(北大) |
| 22. 聖書の贖罪精神とナショナリズムについての一考察 | 木原範恭(近大) |
| 23. 出エジプト記4~14章の頑強モチーフについて | 定形日佐雄(プール学院短大) |
| 24. パウロの言(ことば) | 小山宙丸(早大) |

9月15日(月) 午後(13:00~17:00)

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 25. イグナチオ・デ・ロヨラの神体験 | 須沢かおり(ノートルダム女大) |
| 26. イグナチオ・デ・ロヨラの教育観 | 小林紀由(日大) |
| 27. 聖フランチェスコによる貧と乞食 | イシガミ・イアゴルニツァー・ミチコ
(仏国立科学研) |
| 28. 11世紀の聖餐論争をめぐる | 矢内義顕(東京医科大) |
| 29. <自伝>としての<神学> | 鶴岡賀雄(工学院大) |
| 30. シュライエルマッハーの初期キリスト論 | 長江弘晃(日大) |
| 31. P.ティリッヒにおける「思惟の体系性」の問題 | 芦名定道(京大) |
| 32. ウェスレーの神学 | 野村誠(長崎ウェスレヤン短大) |
| 33. アルベルト・シュヴァイツァーの「生命への畏敬」の倫理 | 笠井恵二(京産大) |
| 34. 日蓮とカトリック神学 | 尾崎誠(東洋哲学研) |
| 35. エマソンにおける魂について | 宮田元(天理大) |
| 36. ブーバーにおける「基本語」と「根源語」 | 水垣渉(京大) |

第 4 部 会 (A215教室)

9月14日(日) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. Brahmayāmalā における dikṣā | 高 島 淳 (東 大) |
| 2. śalya と salla について | 煎 本 信 行 (大 谷 大) |
| 3. Śrīguhyasamājantra Pañjikā についての一考察 | 金 本 拓 士 (東 洋 大) |
| 4. ナーガールジュナの讃頌 | 八 力 広 喜 (北海道武蔵女短大) |
| 5. Prabhākara 派と Kumārila 派の根本的相違点について | 黒 田 泰 司 (大 阪 学 院 短 大) |
| 6. Prabhākara における祭祀思想について | 吉 水 清 孝 (東 大) |
| 7. シャンカラ解脱観の一側面について | 津 崎 浩 一 (東 洋 大) |
| 8. 『瑜伽論』を中心とした中期大乘仏教の波羅蜜説の展開について | 清 水 海 隆 (立 正 大 短 大) |

9月14日(日) 午後(13:00~15:20)

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 9. 良算について | 城 福 雅 伸 (龍 大) |
| 10. 『般若経』における八不の縁起 | 渡 辺 章 悟 (東 洋 大) |
| 11. 『ムーラサーサナー』に記すニャーナガンビーラ僧の伝道 | 宇 治 谷 顕 (名 古 屋 音 大) |
| 12. 賢首における空について | 木 下 富 夫 |
| 13. ジーヴァの遍在性 | 藤 永 伸 (広 島 大) |
| 14. 原始仏教に於ける生 (jāti) の語義について | 服 部 弘 瑞 (大 谷 大) |
| 15. インド仏教史の時代区分の宗教哲学的基盤 | 三 枝 充 恵 (筑 波 大) |

9月15日(月) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 16. 北宋における居士仏教 | 長 谷 川 昌 弘 (愛 知 女 短 大) |
| 17. 禪家亀鑑における休静の戒律思想について | 申 正 午 |
| 18. 石壁寺鉄弥勒像頌について | 金 子 寛 哉 (大 正 大) |
| 19. 元暁の阿梨耶識義について | 李 平 来 (忠 南 大 学 校) |
| 20. 李通玄における信の構造 | 柴 崎 照 和 (高 野 山 大) |
| 21. 智顛説金剛経疏に関する中国の伝承 | 河 村 孝 照 (東 洋 大) |
| 22. 支謙の音写語について | 勝 崎 裕 彦 (大 正 大) |
| 23. 顛倒について——大乘涅槃経を中心として—— | 金 子 芳 夫 (東 洋 大) |
| 24. 無量寿経における生因願について | 小 林 良 信 (大 正 大) |

9月15日(月) 午後(13:00~17:20)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 25. 中国仏教における一乗思想の系譜 | 吉 津 宜 英 (駒 大) |
| 26. 法華経第二章、第三章における仏弟子・菩薩名の一考察 | 関 戸 法 夫 (大 正 大) |
| 27. 『六祖壇経』の五本、七冊について(二) | 長 嶋 孝 行 (国 会 図 書 館) |
| 28. 真諦訳経論中の三十二大人相 | 岡 田 行 弘 (東 大) |
| 29. 支謙訳書に見られる語法と撰集百縁経 | 岡 田 真 美 子 (四天王寺国際仏大) |
| 30. 地論宗の教判と仏陀三蔵 | 織 田 顕 祐 (大 谷 大) |
| 31. 『成唯識論』考 | 上 田 晃 圓 (龍 大) |
| 32. 曇鸞の帰浄と『大智度論』 | 服 部 純 雄 (知恩院浄土宗学研) |
| 33. ダルマキールティにおける疑似論証因論の展開 | 小 野 基 (筑 波 大) |
| 34. 『俱舍論』における Abhidharma の解釈をめぐって | 田 崎 國 彦 (東 洋 大) |
| 35. 臨終者の義務——プラーナ文献を中心として—— | 引 田 弘 道 (愛 知 学 院 大) |
| 36. 無有愛 (Vibhava-tanhā) | 柏 原 信 行 (大 谷 大) |
| 37. ヒルマ上座部の諸派について | 生 野 善 應 (亜 細 亜 大) |

第 5 部 会 (A213教室)

9月14日(日) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 日本仏教にみる宗教意識 | 青 龍 宗 二 (駒 大) |
| 2. 道元における信の二相 | 半 田 榮 一 |
| 3. 正法眼蔵聴書における尽界について | 粟 谷 良 道 (曹 洞 宗 宗 学 研) |
| 4. 中国禪と道元禪 | 石 井 修 道 (駒 大) |
| 5. 首 巖・円覚経の思想と道元 of 精神史的課題 | 土 田 友 章 (南 山 大) |
| 6. 證空浄土教における救済の論理 | 廣 川 堯 敏 (大 正 大) |
| 7. 妙好人の無知について | 佐 藤 平 (大 谷 女 大) |
| 8. 妙好人善太郎について | 松 塚 豊 茂 (島 根 大) |

9月14日(日) 午後(13:00~15:20)

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 9. 日本唯識思想の研究——三身成道説の展開—— | 楠 淳 證 (龍 大) |
| 10. 日本唯識思想の研究——五重唯識説の展開(1)—— | 後 藤 康 夫 (龍 大) |
| 11. 即身義における加持の理解 | 大 沢 聖 寛 (真言宗豊山派宗学研) |
| 12. 補陀落渡海上人・日秀について | 根 井 淨 (神 戸 常 盤 短 大) |
| 13. 伝教大師における円機 | 木 内 堯 央 (大 正 大) |
| 14. 円珍の山王信仰 | 菅 原 信 海 (早 大) |
| 15. 自誓受戒の典拠について | 坂 上 雅 翁 (淑 徳 短 大) |

9月15日(月) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 16. 念仏の一遍上人 | 棚 次 正 和 (仏 大) |
| 17. 一遍の身心放下について | 和 田 真 雄 (近 大 豊 岡 女 短 大) |
| 18. 一遍の遊行について | 渡 辺 喜 勝 (米 沢 女 短 大) |
| 19. 『西方要決』と『念仏鏡』 | 糸 原 勇 慈 (大 正 大) |
| 20. 親鸞の聞信不具足観 | 三 明 智 影 (大 谷 大) |
| 21. 『教行信証』化身土巻における人間存在の問題 | 菊 藤 明 道 (京 都 短 大) |
| 22. 鎌倉新仏教における夢の伝承 | 林 淳 (愛 知 学 院 大) |
| 23. 和国の教主——親鸞における聖徳太子讃仰の意義—— | 柳 瀬 彰 弘 (大 谷 大) |
| 24. 親鸞における二尊教の問題 | 萩 原 晃 俊 (大 谷 大) |

9月15日(月) 午後(13:00~17:00)

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 25. 親鸞と宋代浄土教 | 前 田 至 成 (相 愛 大) |
| 26. 『歎異抄』第十六条について | 徳 永 大 信 (九 州 龍 谷 短 大) |
| 27. 静遍僧都における弥陀浄土思想の特色 | 池 要 (龍 大) |
| 28. 日蓮真筆遺文の伝承の意義 | 寺 尾 英 智 (立 正 大) |
| 29. 日蓮の宗教的「罪」をめぐる | 原 慎 定 (立 正 大) |
| 30. 日蓮の「予言」をめぐる問題 | 北 川 前 肇 (立 正 大) |
| 31. 『顕戒論』歸敬偈の真偽問題 | 高 佐 宣 長 (立 正 大) |
| 32. 『依憑天台宗序』と『秘密曼荼羅教付法伝』について | 苦 小 地 誠 一 (大 正 大) |
| 33. 密教種子字論 | 齋 藤 彦 松 (梵 字 資 料 研) |
| 34. 高野山の僧侶の唱導活動について | 日 野 西 眞 定 (高 野 山 大) |
| 35. 子島金剛界曼荼羅 | 横 地 清 恵 |
| 36. 『安樂集』における文章形態の特色について | 久 米 原 恒 久 (大 正 大) |

第 6 部 会 (A214教室)

9月14日(日) 午前(9:20~12:00)

1. 一貫道について
2. 明治維新时期における仏教教団の自己改革について
3. 鳥尾得庵の仏教思想と明道協会
4. 精神界誌の地位と意義
5. 田辺哲学と浄土真宗
6. 西田とヤスパース
7. 生成の問題——キェルケゴールと西田哲学において——
8. 西田哲学における神と意識

岡 田 栄 照
 小 野 文 瑠 (立 正 大)
 池 田 英 俊 (旭 川 大 女 短 大)
 橋 本 芳 契 (北 陸 学 院 短 大)
 田 辺 正 英 (富 山 医 薬 大)
 北 野 裕 通 (相 愛 大)
 川 村 永 子 (花 園 大)
 岡 廣 二 (十 文 字 学 園)

9月14日(日) 午後(13:00~15:20)

9. 絶対無と絶対の神 (西田哲学を中心として)
10. 倉田百三手放しの体験と西田哲学場所の自覚
11. 西ドイツにおける絶対無の哲学
12. 仏教における「人間解放」(2)
13. 親鸞の人間観
14. 垂加神道における「死」の問題
15. 「悪魔」芥川龍之介との関係

沼 田 滋 夫 (昭 和 音 大)
 海 辺 忠 治 (甲 子 園 短 大)
 永 見 潔 (奈 良 県 立 短 大)
 ルーベン・アピト (上 智 大)
 渡 部 眞 弓 (国 学 院 大)
 安蘇谷 正彦 (国 学 院 大)
 椿 實 (江 戸 川 区 教 育 研)

9月15日(月) 午前(9:00~12:00)

16. 『本教外篇』と『畸人十篇』の比較研究
17. 『菊と刀』と日本人の宗教
18. 兼好の仏道観
19. 虚妄分別の意味について
20. 転依の一考察
21. 有為相の住と異について
22. 藤井日達の「満州」開教をめぐる問題
23. 鈴木大拙博士における「経験と論理」の問題
24. 渡米以前の鈴木大拙における比較宗教 (続)

栗 田 英 二 (九 大)
 鳥 井 由 紀 子 (東 大)
 新 保 哲 (都 立 上 野 高)
 阿 理 生
 松 本 隆 (東 洋 大)
 春 田 神 静 (金 沢 経 大)
 中 濃 教 篤 (日 蓮 宗 現 代 宗 教 研)
 和 田 眞 二
 脇 本 平 也 (駒 大)

9月15日(月) 午後(13:00~17:20)

25. 信仰における向上と向下 ①浄土教
26. 神今食の諸問題
27. 鎮魂行法の身体論
28. 宝山良雄について
29. 加藤咄堂の勅語衍義書をめぐって
30. 皇国史観と宗教
31. 中世家法における宗教の取り扱い
32. 靈異記に見られる靈力信仰の諸相
33. 源信の法華・涅槃経引用
34. 源信における「善知識」の問題
35. 看話禪と現象学的エポケーについて
36. 道元思想の倫理的 성격
37. 浄土教における「宗教の神学」

野々山 宏 (京 都 国 際 瞑 想 文 化 研)
 高 森 明 勅 (国 学 院 大)
 津 城 寛 文 (東 大)
 松 本 皓 一 (駒 大)
 三 宅 守 常 (日 大)
 佐 木 秋 夫
 白 山 芳 太 郎 (皇 学 館 大)
 華 園 聰 麿 (東 北 大)
 関 戸 堯 海 (立 正 大)
 宮 敏 子 (三 島 学 園 女 大)
 岩 村 康 夫 (正 眼 短 大)
 岡 島 秀 隆 (愛 知 学 院 大)
 高 田 信 良 (龍 大)

第 7 部 会 (A212教室)

9 月 14 日(日) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 1. ヒトとカミと自然 | 中 村 生 雄 (愛 知 大) |
| 2. 首無地蔵の靈験譚 | 鈴 木 岩 弓 (島 根 大) |
| 3. 浄と不浄について | 大 垣 豊 隆 (神 宮 司 庁) |
| 4. オシラサン信仰について | 佐 島 隆 (東 北 大) |
| 5. 村落社会の死者儀礼 | 八 幡 崇 経 (愛 知 学 院 大) |
| 6. 班幣から奉幣へ | 三 橋 正 (大 正 大) |
| 7. 花祭・神道 (かんみち) の色彩にみるいくつかの問題 | 春 日 井 真 英 (名 城 大) |
| 8. 社寺縁起の研究試論 | 藺 田 稔 (国 学 院 大) |

9 月 14 日(日) 午後(13:00~15:20)

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 9. 『日本靈異記』にみられる慈悲行について | 奈 良 弘 元 (日 大) |
| 10. 「生天光手記」にみられる沖縄の宗教的世界観 | 安 達 義 弘 (九 大) |
| 11. 鳥羽市松尾町における祭りの社会的機能 | 川 上 光 代 (南 山 大) |
| 12. 祭研究の数量的把握 | 宇 野 正 人 (江 戸 川 女 短 大) |
| 13. 憑依型教祖の創出過程 | 櫻 井 徳 太 郎 (駒 大) |
| 14. 黒住教における御神幸について | 藤 原 照 彦 |
| 15. 地蔵像違憲訴訟の判決について | 村 上 重 良 (慶 大) |

9 月 15 日(月) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 16. 室町期日蓮教団の地方寺院展開の特質 | 糸 久 宝 賢 (立 正 大) |
| 17. 日蓮系教団の時空認知様式に関する闘争理論的検討 | 笠 井 正 弘 (西 日 本 短 大) |
| 18. 江戸時代における東大寺の勧進活動 | 山 本 博 子 (仏 大) |
| 19. 永平寺法堂安置の聖観音坐像とその改修仏師について | 江 口 正 尊 (東 日 本 学 園 大) |
| 20. 熊野参詣における聖俗認識について | 石 倉 孝 祐 (国 学 院 大) |
| 21. 西国巡礼行者集団の伝承をめぐって | 小 嶋 博 巳 (ノートルダム清心女大) |
| 22. 修験道はどこから来たか | 佐 久 間 光 昭 |
| 23. 山伏と社家出入の一考察 | 菊 池 武 (大 谷 大) |
| 24. 奥院と里宮 | 宮 家 準 (慶 大) |

9 月 15 日(月) 午後(13:00~17:00)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 25. 現代東京都内の仏式葬儀について | 村 上 興 匡 (東 大) |
| 26. 盆行事と祭却 | 赤 池 憲 昭 (愛 知 学 院 大) |
| 27. 地域社会における御嶽信仰と「御座」の形態 | 高 橋 涉 (宮 城 学 院 女 大) |
| 28. 善宝寺信仰とシャーマニズム | 佐 藤 憲 昭 (駒 大) |
| 29. 薬師信仰の諸相 | 伊 藤 芳 枝 (山 口 女 大) |
| 30. 禅宗寺院と秋葉信仰と庶民 | 渡 部 正 英 (駒 大 高) |
| 31. 伊勢地方における曹洞宗の展開 (I) | 竹 内 堅 丈 (愛 知 学 院 大) |
| 32. 伊勢地方における曹洞宗の展開 (II) | 佐 藤 悦 成 (愛 知 学 院 短 大) |
| 33. 真宗門信徒の社会心理学的考察 (1) | 金 児 暁 嗣 (大 阪 市 大) |
| 34. 真宗門信徒の社会心理学的考察 (2) | 大 村 英 昭 (阪 大) |
| 35. 都市移住者と宗教変容について | 田 島 忠 篤 (明 の 星 女 短 大) |
| 36. みちのくにおける蔵王権現 | 月 光 善 弘 (山 形 女 短 大) |

第 8 部会 (A211教室)

9月14日(日) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. アメリカにおける宗教テレビの現状 | 石井 研 士 (東 大) |
| 2. ボランティア・アソシエーション論の源流 | 柴田 史 子 (桜 美 林 大) |
| 3. プロアスター教の聖なる火の維持のされ方について | 中別府 温 和 (西 南 女 学 院 短 大) |
| 4. 才徳論 (孟子) | 櫻木 茂 樹 (久 留 米 工 大) |
| 5. <墓場の饗宴> と Heruka 神 | 島田 茂 樹 (東 洋 大) |
| 6. 古代宗教における女性的なるものの表象 | 岡野 治 子 (法 大) |
| 7. 文化界における神の位置と機能について | 平野 孝 國 (新 潟 大) |
| 8. ガリラヤ人ユダの蜂起とユダヤ独立運動 | 新井 佑 造 (京 都 芸 術 短 大) |

9月14日(日) 午後(13:00~15:20)

- | | |
|---|----------------------|
| 9. ユダヤ史におけるメシヤ運動について | 黒川 知 文 (明 治 学 院 大) |
| 10. 創唱宗教の信仰様式の系譜的展開 | 田中 實 (コ ロ ン ビ ア 学 院) |
| 11. Nichiren Shosyu de Mexico における Conversion Motif | 大久保 雅 行 (九 大) |
| 12. メキシコ・メノニータス文化の一考察 | 坂井 信 生 (九 大) |
| 13. メキシコ・トラホムルコのカトリック文化の研究 | 野村 暢 清 (久 留 米 大) |
| 14. 中国の石獅と沖縄のシーサー | 窪 德 忠 (駒 大) |
| 15. ヤダナグーナッ祭の構造をめぐって | 浜田 哲 也 (東 大) |

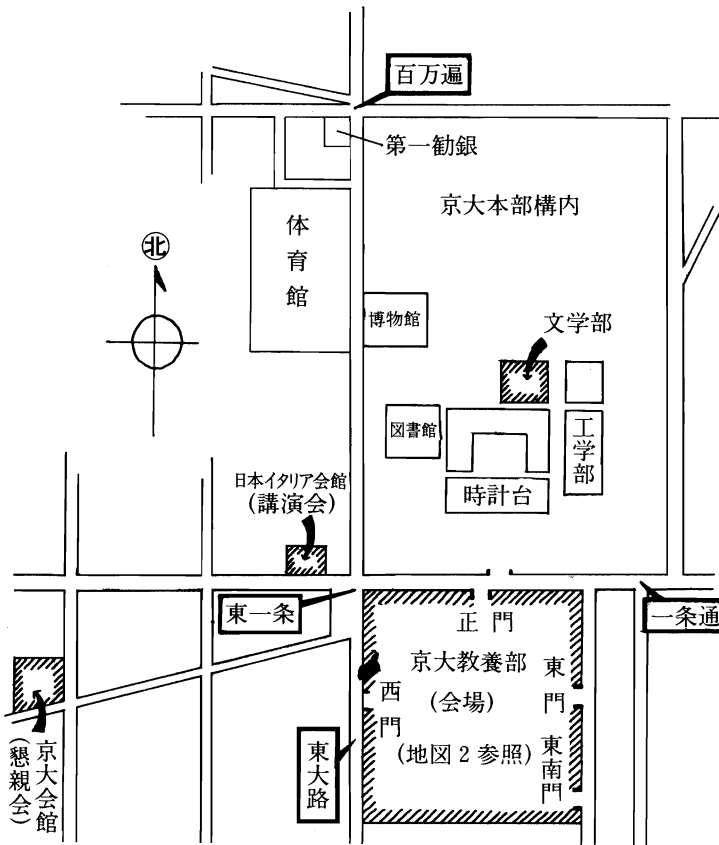
9月15日(月) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 16. 霊能者のカリスマ性と「聖なる水」による救済 (1) | 井 桁 碧 (聖 心 女 大) |
| 17. 霊能者のカリスマ性と「聖なる水」による救済 (2) | 渡 辺 雅 子 (明 治 学 院 大) |
| 18. ヨーロッパにおける若水汲みと泉の習俗 | 植 田 重 雄 (早 大) |
| 19. 後期仏教徒による聖典の階層的理解 | 生 井 智 紹 (高 野 山 大) |
| 20. 初期仏教経典の編集形態について | 森 章 司 (東 洋 大) |
| 21. 『釋浄土群疑論』における法相との対論 | 村 上 真 瑞 (仏 大) |
| 22. 殷金文に見られる青銅彝器の機能とその背景 | 池 澤 優 (東 大) |
| 23. 中国古代の地母神たち | 森 雅 子 (慶 大) |
| 24. 古代中国における天命の宗教的性格 | 栗 原 圭 介 (大 東 文 化 大) |

9月15日(月) 午後(13:00~17:00)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 25. アブド・アル・ジャッパールの倫理思想 | 塩 尻 和 子 (東 大) |
| 26. ヒンドゥ供犠論からみた憑依と司祭 | 田 中 雅 一 |
| 27. ラーマクリシュナ教団の法規 | 橋 堂 正 弘 (梶 山 女 学 園 大) |
| 28. ラマ神権制と天皇制 | 山 折 哲 雄 (歴 博) |
| 29. 利瑪竇の中国伝統思想への対応 | 星 宮 智 光 (聖 母 女 学 院 短 大) |
| 30. 農村社会へのキリスト教の伝播・浸透過程 | 西 光 義 秀 (龍 大) |
| 31. ポスト植民地時代におけるキリスト教伝道の諸類型 | 荒 井 芳 廣 (幾 徳 工 大) |
| 32. 生駒の朝鮮寺儀礼における複層構造 | 飯 田 剛 史 (富 山 大) |
| 33. 禁厭祈禱と病氣治し | 井 上 順 孝 (国 学 院 大) |
| 34. 日本人移住者の宗教 | 戸 上 宗 賢 (龍 大) |
| 35. アメリカの対日占領政策と宗教問題 | 中 野 毅 (創 価 大) |
| 36. 大本教における弥勒信仰について | 出 口 栄 二 (早 大) |

地図1 京都大学周辺地図

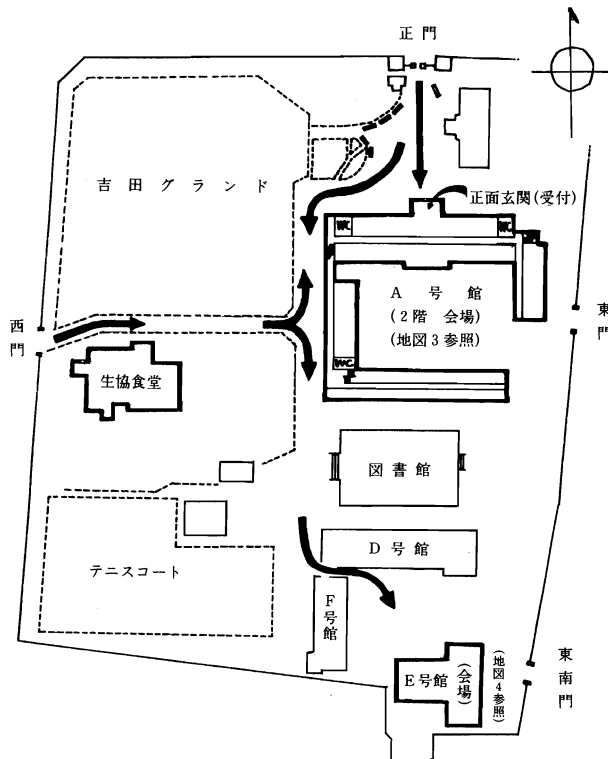


京大教養部までの交通案内

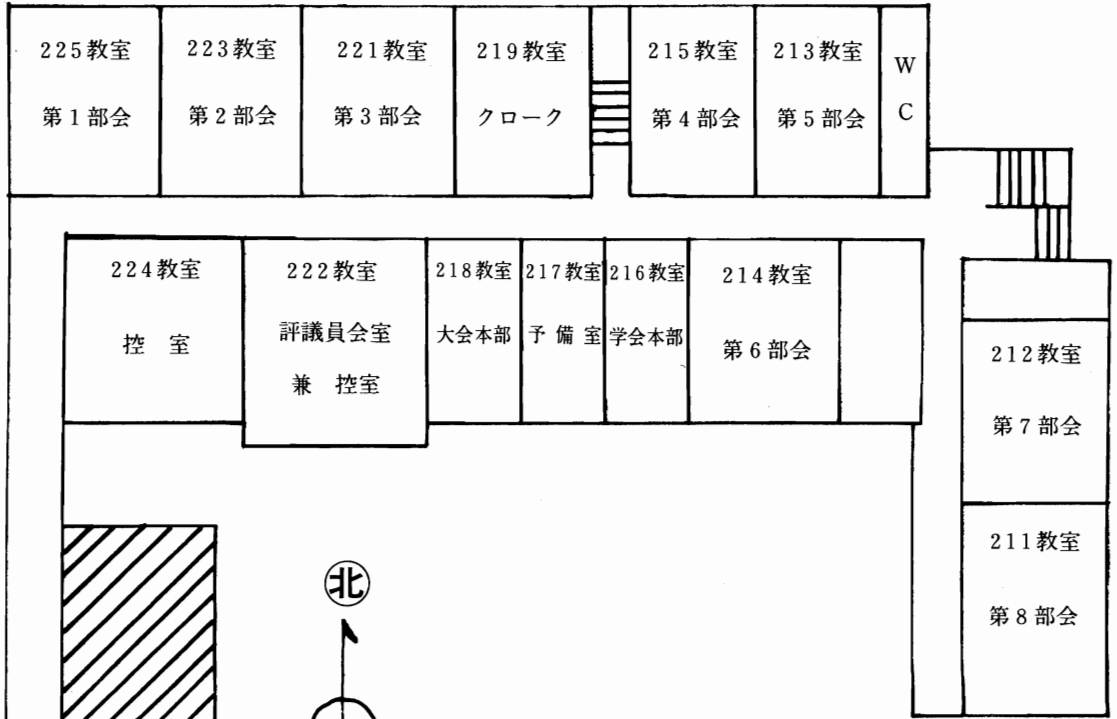
- 京都駅中央口バスターミナルより
市バス 206系統 東山通高野行
「東一条」駅下車後 徒歩3分
- 京都駅中央口バスターミナルより
市バス 17系統 銀閣寺行
「百万遍」駅下車後 徒歩10分
- 京都駅より地下鉄で
「今出川」駅下車後 市バス乗換
203系統 錦林車庫行
「百万遍」駅下車 徒歩10分

(市バスは、系統番号が同じでも行先の違うバスがありますので、行先まで御確認の上御乗車下さい)

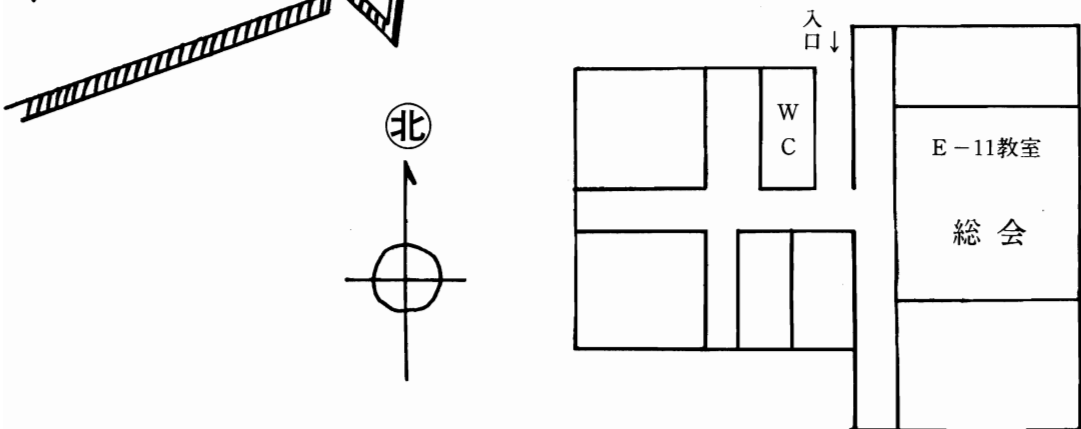
地図2 京都大学教養部構内建物配置図



地図3 A号館2階会場配置図



地図4 E号館1階会場配置図



会場案内

理事	会	：	京大会館	
評議員	会	：	教養部A号館・222教室	
学会賞選考委員	会	：	文学部長室	
編集委員	会	：	文学部長室	
公開講演	会	：	イタリア会館ホール	
開	会	式	：	教養部A号館・222教室
総	会	：	教養部E号館・11教室	
懇親	会	：	京大会館	
記念写真撮影	：		教養部E号館前	

研究発表会場

第1部	会	：	225教室(教養部A号館)			
第2部	会	：	223教室(教養部A号館)			
第3部	会	：	221教室(教養部A号館)			
第4部	会	：	215教室(教養部A号館)			
第5部	会	：	213教室(教養部A号館)			
第6部	会	：	214教室(教養部A号館)			
第7部	会	：	212教室(教養部A号館)			
第8部	会	：	211教室(教養部A号館)			
大会本	部	：	教養部 A号館・218教室			
学会本	部	：	教養部 A号館・216教室			
会員控	室	：	教養部 A号館・224教室			
			教養部 A号館・222教室			
ク	口	一	ク	：	教養部 A号館・219教室	
受				付	：	教養部 A号館・正面玄関